



スプレーカーネーション 「カーネ愛知7号」を開発

開発の背景・ニーズ

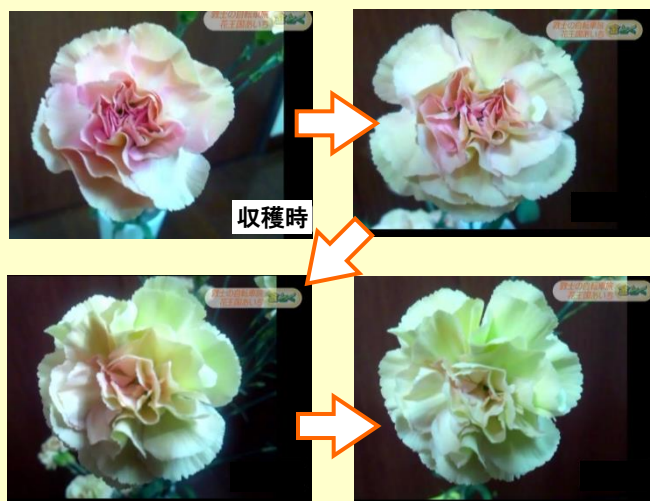
輸入切花による販売価格の低迷や、重油価格の高騰をはじめとする生産コストの増加などにより、カーネーション生産は厳しい状況にあります。生産者からは商品性の高い本県独自のオリジナル品種の開発が望まれています。

成果の内容

愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会の協力を得て、ピンクベージュ色で観賞期間中に花色が徐々に変化する特徴のあるスプレーカーネーションを開発しました。本品種は、平成19年に交配を開始し、平成25年6月に育成を完了、11月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。

新品種の特徴

- 花の周辺部からピンク色が徐々に抜けてベージュの色合いが強くなり、緑黄色にまで花色が変化します。
- 茎がしっかりとして折れにくく、伸長性も高い中晩生品種です。
- 花径は大きめで花数もやや多く、アレンジメント用途にも向きます。



観賞期間中の花色の変化

愛知県農業への貢献

これまでに開発したスプレーカーネーションとともに、愛知ブランドカーネーションの花色バリエーションが拡充でき、生産者・消費者双方のニーズに応えることで産地振興に期待されます。